

銀行預金と地球環境

授業内容

キーワード: 銀行預金、地球環境問題、フェアファイナンス

地球環境問題と言えば、昨年(2015年)パリ協定が採択され、先進国だけでなく、発展途上にある国も含めて地球温暖化防止に向けて取り組むことになりました。とはいえ、地球温暖化防止は国が対策をすれば、それで解決するという問題ではありません。生活者である国民一人一人が常に地球環境問題を意識して行動しなければなりません。その行動の一つに「フェアトレード商品やオーガニック商品を選ぶように、お金の預け先を考え直してみる」という考え方があり、このような考え方を「フェアファイナンス」と言います。

「地球環境を良くするために預金先を選ぶ」って言われても、預金選びと地球環境はなかなかうまく結びつかない方も多いと思います。

そこで本講義では、銀行預金の基本的な仕組みについて解説し、どのように銀行が私たちのおカネを効率よく社会に役立っているかを学習します。銀行の基本的な仕組みがわかると、銀行が「何をしているのか」が理解できると同時に、私たちの「預金選び」の重要性がわかり、その行動が地球温暖化防止につながることを理解できるようになります。

この講義で身につくこと

何気なく、いつも銀行に預けている預金が、実は地球環境にも影響を及ぼしている可能性があることが理解できます。

所要時間

1時間



高崎商科大学
商学部
教授 前田 拓生

<専門分野>
金融・ファイナンス
経済統計